

暗渠の大きさに就て

* 橋 内 十 九 二

1. はしがき

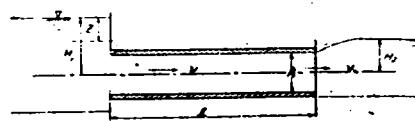
河川改修、溝地又はアルカリ土地改良或は耕地整理を施行する場合に堤防を横ぎりて用悪水路の暗渠を新設又は改築するの必要を生ずることが屢ある。斯の場合に暗渠の断面積を如何に定むべきかは非常に難しいことで殊に満洲の如く實例に乏しい所に於ては参考にすべき資料も少ないため一層困難を感じるものである。

それで從來新設せられたこの種暗渠の中には比較的適當な断面を選定しその目的に充分適つて居るものも見受けられるが大部分は小断面が過大に失し不經濟な形になつて居るものや過小に過ぎて充分な能力を發揮し得ない構造になつて居るものがあるを認め甚だ遺憾に存する次第である、特に用水供給面積又は悪水排除面積の比較的小なるものにありては暗渠の敷高や水位關係を研究せずに單に現存する水路幅或はそれに類似の幅員を用ひ悔を後年に残し數年足らずして改築の余儀なき運命に陥ち入らんとする若干の實例あるを知る。

茲に於て暗渠の断面積決定の算式を簡単に述べ今後との種構造物の設計を爲さんとする諸彦の参考に供し度いと思ふ唯該算式中には種々の未知定数が介入しこれ等定数の判定に相當の資料と研究とを必要とする事は餘言を俟たない、これに關しては將來諸彦と共に將來研究し所謂満洲向の公式に作り上げたいと念願して居る、

2. 暗渠の断面積

(i) 暗渠の兩側に水位差ありて接近及速度なき場合



水頭Zと流速Vとの關係を求むるに

$$Z = f_1 \frac{V^2}{2g} + f_2 \frac{V^2}{2g} + \frac{V^2}{C^2 R} l \dots$$

此處に $f_1 \frac{V^2}{2g}$ = 断面急擴による水頭の損失

$f_2 \frac{V^2}{2g}$ = 断面急縮による水頭の損失

$\frac{V^2}{C^2 R} l$ = 暗渠内の摩擦による水頭損失

$$\text{故に } V = \left(\frac{2gZ}{f_1 + f_2 + \frac{2gl}{C^2 R}} \right)^{\frac{1}{2}}$$

それで暗渠の断面積A内を流る流量Qは

$$Q = A \left(\frac{2gZ}{f_1 + f_2 + \frac{2gl}{C^2 R}} \right)^{\frac{1}{2}}$$

$$\text{今 } f_1 + f_2 = a, \quad \frac{2gl}{C^2 R} = b, \quad \text{と置き更に}$$

邊長とすれば

$$(3) \text{ 式は } Q = A^{\frac{1}{2}} \left(\frac{2gZ}{a \cdot A + b \cdot S} \right)^{\frac{1}{2}}$$

然るに AとSとの關係は $\alpha A = S^2$ なる

$$(4) \text{ 式は } Q = A^{\frac{1}{2}} \left(\frac{2gZ}{a \cdot A + b (\alpha \cdot A)} \right)^{\frac{1}{2}}$$

$$\therefore Q = A^{\frac{1}{2}} \left(\frac{2gZ}{a \cdot A^{\frac{1}{2}} + b'} \right)^{\frac{1}{2}}$$

$$t = \frac{1}{A} \left(\frac{1+f_0 + \frac{2gl}{C^2 R}}{2g} \right)^{\frac{1}{2}} \left\{ H^{\frac{1}{2}} \left(2a - \frac{4}{3}(n+2mH)H + \frac{16}{15}mH^2 \right) - Z^{\frac{1}{2}} \left(2a_z - \frac{4}{3}(n+2bZ)Z + \frac{16}{15}mZ^2 \right) \right\}$$

Hより暗渠軸面下迄ぐるに要する時間は(22)式中に $Z=0$ と置けばよいのである。即ち

式中 a_1 及び b_1 は前項にて既述せしものと同
である。この(22)式によりて t, A, a 及び H

との関係を見出すことを得若し「タルボット」氏の公式誘導の際用ひしが如き假定 $\Omega z = (nZ)^2$ を應用するに(22)式は

(ii) 排水地域内に一定流入ある悪水を有する場合

Q_2流入流量

Z……暗渠下流端を基線とする水頭

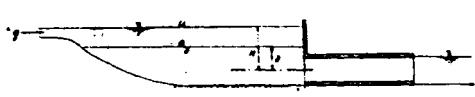
$\alpha_z \dots Z$ に相當する水面積、前項と同様 $\alpha_z = \alpha_0 + mZ + nZ^2$ と見做す *

故に水位を H より Z 低下するに要する時間 t は

$$t = \frac{2}{\lambda} \left(\frac{m}{5} (H^{\frac{1}{2}} - Z^{\frac{1}{2}}) + \frac{mh^{\frac{1}{2}}}{2} (H^{\frac{1}{2}} - Z^{\frac{1}{2}}) + \frac{n+mh}{3} (H^{\frac{1}{2}} - Z^{\frac{1}{2}}) + \frac{h^{\frac{1}{2}}(n+mh)}{2} (H - Z) \right. \\ \left. + (Q_0 + nh + mh^2) (H^{\frac{1}{2}} - Z^{\frac{1}{2}}) + h^{\frac{1}{2}} (Q_0 + nh + mh^2) \log \frac{H^{\frac{1}{2}} - h^{\frac{1}{2}}}{Z^{\frac{1}{2}} - h^{\frac{1}{2}}} \right)$$

$Z=0$ 、 $a=\alpha_0$ の場合に於ては

$$t = \frac{2}{\lambda} \alpha_0 \left(H^{\frac{1}{2}} + h^{\frac{1}{2}} \log \left\{ 1 - \left(\frac{H}{h} \right)^{\frac{1}{2}} \right\} \right) = 2A^{-1} \left(\frac{\alpha A^{\frac{1}{2}} + h^{\frac{1}{2}}}{2g} \right) \alpha_0 \left(H^{\frac{1}{2}} + h^{\frac{1}{2}} \log \left\{ 1 - \left(\frac{H}{h} \right)^{\frac{1}{2}} \right\} \right) \dots$$



尙これ等の外に于潮河川筋に暗渠をけし場
或は毎年洪水波の影響を受ける暗渠を設くる
如き場合及び用水路暗渠につきては別に號を
めて記述し度いと思ふ

多忙中稿落したので粗雑の難を免れしめ

以 上